

ノズルの力に注目!

ノズルで省エネ

あらゆる産業における省力化・効率化にスプレーノズルは不可欠かつ強力です。

「プロアアーへの切り替え」

電力消費量 約 **80%** 削減
効果の一断面

「ミスト+ファンによる省エネ冷房」

「室外機ミスト冷却による運転効率の改善」

「ガスタービンの吸気冷却によるタービン出力アップ」

「ルークーリングによる空調負荷軽減」

会場デモ展示を行います

2011年6月29日(水)~7月1日(金)
「第24回 インターフェックス ジャパン」に出展
東京ビッグサイトブースNo. 東4ホール49-51

スプレーノズル システム ジャパン株式会社
Spraying Systems Co., Japan
【本社】〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-10-18
TEL:03-3445-6031 / FAX:03-3444-5688
www.spray.co.jp

もやクールシステム

Everloy spray nozzles

MOYA SERIES もやしシリーズ

半屋外空間での使用において、蒸散効果により夏場には3°C程度温度が低下し、自然の清涼感を得る事ができます。冷房作用により熱中症や、屋上等の緑化事業にも効果的です。また森林の持つ冷却効果と同様なため、ヒートアイランド現象の対策にも使用されています。

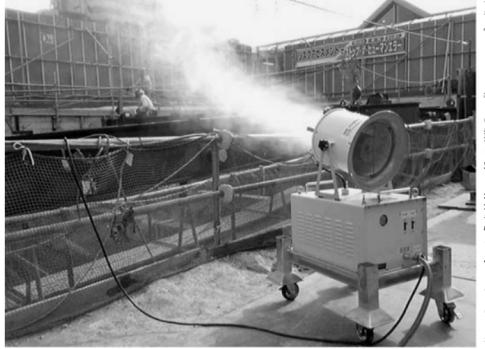
ISO9001 認証取得 ISO14001 認証取得

ノズルの総合メーカー (株) 共立合金製作所 エバーロイ商事(株)

ノズル事業部 / 兵庫県丹波市柏原町北山130-3
〒669-3313 Tel.(0795) 72-3374 Fax (0795) 72-3376

本社/大阪 Tel.(06) 6452-2272 Fax.(06) 6452-2187
支店/東京 Tel.(03) 3862-9280 名古屋 Tel.(052) 781-8220
九州 Tel.(092) 452-0810 倉敷 Tel.(086) 422-7560

まだ間に合う! 夏に備えた暑さ対策



熱中症予防対策として建築現場で活躍(日本機電)

2010年夏の猛暑は記憶に新しい。気象庁が統計を開始した1898年以降で平均気温が最も高い夏(6、7、8月)だったのが、8月の平均気温は2.25度Cと高温になった。偏西風、エルニーニョ現象、ヒートアイランド現象が要因と考えられる。

この記録的な猛暑で熱中症にかかる人が例年より増加。熱中症とは高温多湿な環境下で体内の水分・塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称。症状はめまい、失神、筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛、吐き気、意識障害など。消防庁の統計では10年夏(7、9月)の熱中症死者は167人だった。

企業は従業員の健康を守るため、そして作業の効率性を保つためにも暑

水分の気化で冷却 体感温度10度C下がる

湿度が高いと、体感温度は実際の気温より高くなる。湿度100%のときは、体感温度は実際の気温より約1.5度C高くなる。湿度50%のときは、体感温度は実際の気温より約0.5度C高くなる。湿度30%のときは、体感温度は実際の気温より約0.2度C高くなる。湿度10%のときは、体感温度は実際の気温より約0.1度C高くなる。

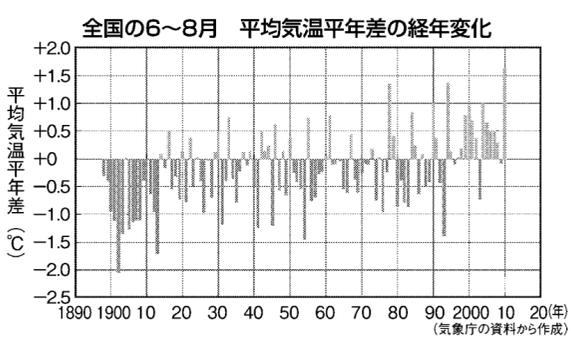
水分の気化で冷却。体感温度10度C下がる。湿度が高いと、体感温度は実際の気温より高くなる。湿度100%のときは、体感温度は実際の気温より約1.5度C高くなる。湿度50%のときは、体感温度は実際の気温より約0.5度C高くなる。湿度30%のときは、体感温度は実際の気温より約0.2度C高くなる。湿度10%のときは、体感温度は実際の気温より約0.1度C高くなる。

さ対策に取り組みなければならぬ。しかし、節電対策も積極的に行う必要がある。そこで、注目されるのが細霧冷房システムだ。同システムは噴射した霧をファンで飛ばし、気化熱による冷却作用で気温を下げる。細かい霧のため皮膚に付いてもぬれたという感覚はない。同システムはモーターを駆動して霧を噴射するだけなので排熱は全くない。消費電力は約10倍という、高い冷却性能と省エネを実現する。同システムの需要は増加している。

活用場面の幅が広いのも特徴の一つ。エアコンは窓を締め切った室内では効果があがるものの、窓を開けた工場や屋外では使用できない。同システムは屋内外で使用できる。屋内外それぞれに最適な霧の大きさで対応している。日本機電の「瀬利社社長」は「活用場所によって異なるが、3度C下がるのは確実に。体感温度では7、10度C下がる」とい

細霧冷房システム

細霧冷房システムは霧(水分)の力で気温を下げる。霧が気化するときに熱を奪う。自然の力を利用して環境にやさしい。また、屋内外で使用できる熱中症対策と、熱効率が良い節電対策との両立にきわめて有効。本格的な夏を迎える前に、職場環境を整えておく必要がある。



昨夏熱中症が増加 厚労省、対策を訴える

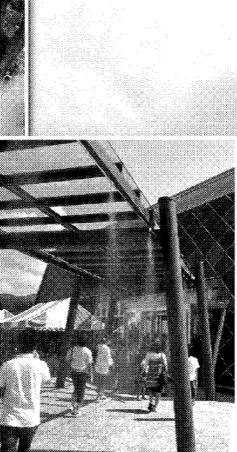
厚労省、対策を訴える

病は軽症が3万1291人と半分以上を占め、死亡は167人だった。職場で作業中に熱中症にかかることもある。厚生労働省の統計では10年の職場での熱中症による死者は47人。死亡者数が多い業種は建設、製造、農業、屋外作業中に発症するケースが多い。厚労省では職場における熱中症の予防対策を訴えている。職場の暑熱状況を把握した作業環境の管理、自覚症状の有無に関わらず水分・塩分の摂取などを呼び掛けている。今年も東日本大震災の影響による電力不足に備え、政府は企業・家庭ともに電力使用量の15%削減を要請した。節電対策が高まりすぎて冷房機器を使用せずに熱中症を引き起こす可能性が高まると厚労省は懸念している。そこで、厚労省は例年よりも熱中症の予防対策を重点的に呼び掛けている。

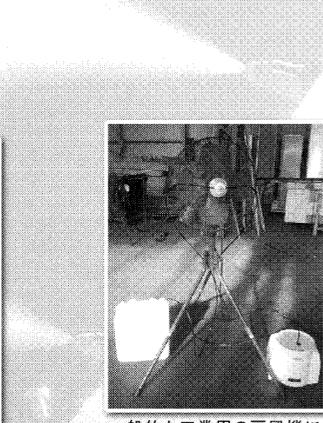
ミストが冷房の常識を変えます



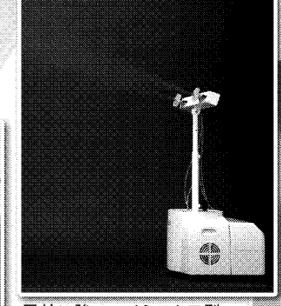
広範囲にパイプラインをセットしたパイプ型ミスト



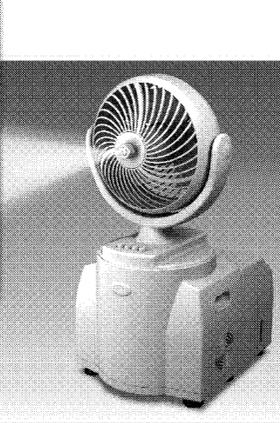
一般的な工業用の扇風機にセットできる簡単ミスト



屋外に強いマイミストIII型



マイミスト(小型タイプ)



マイミスト(小型分離タイプ)



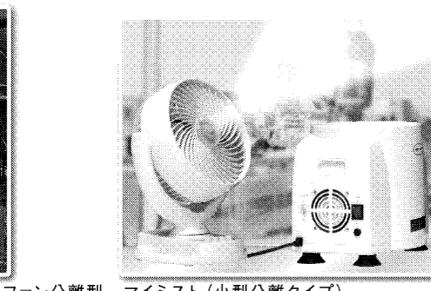
園児に大人気スタンド型ミスト



口蹄疫対策にも活躍ファン型ミスト



高所や持込みにくい場所使用するミストファン分離型



マイミスト(小型分離タイプ)

NKミストの5つの効果

- ①冷却効果
- ②粉塵飛散防止効果
- ③大規模加湿効果
- ④省エネ効果
- ⑤リラックス効果
- ⑥環境保全効果

NK 日本機電株式会社

本社
〒577-0011
大阪府東大阪市荒本北3丁目5-13
TEL: 0120-021-406
FAX: 0120-021-408
http://www.n-kiden.co.jp